

中小企業景況調査報告書【えひめ版】

愛媛県商工会連合会

全国商工会連合会では、四半期毎に景況調査を実施しており、本報告書は県内商工会地域の景気動向を【えひめ版】として作成したものです。

調査対象期間：令和6年度第4四半期（令和7年1月～3月期）

調査対象企業：150企業 回答企業：148企業

（製造業：30社 建設業：20社 小売業：39社 サービス業：59社）

DI方式

DIとは、各調査項目について〔増加・上昇・好転〕の割合から〔減少・低下・悪化〕の割合を差し引いた値で〔景気動向指数〕を表しています。

*記号とDI値の関係

 快晴 ~30.1	 晴 30.0 ~10.1	 薄曇 10.0 ~▲10.0	 曇 ▲10.1 ~▲30.0	 雨 ▲30.1~
---	--	--	--	---

1. 業況判断DIと天気図（2年間の推移）

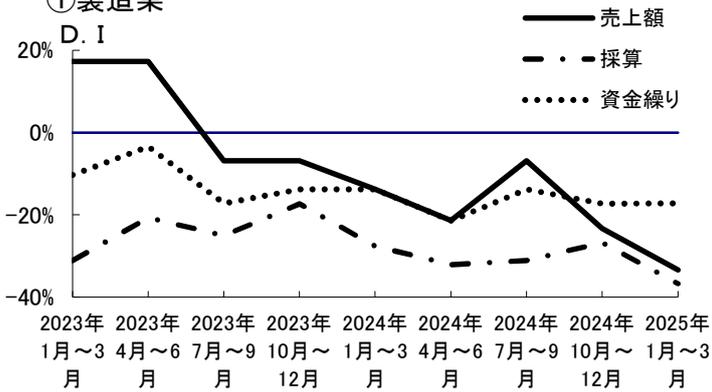
期別	業種別	①製造業		②建設業		③小売業		④サービス業		全体	
	令和5年 1~3月期		▲ 10.4		▲ 35.0		▲ 39.5		▲ 22.4		▲ 26.8
令和5年 4~6月期		0.0		▲ 10.0		▲ 41.5		▲ 1.7		▲ 13.3	
令和5年 7~9月期		▲ 20.7		▲ 10.0		▲ 40.5		▲ 5.1		▲ 19.1	
令和5年 10~12月期		▲ 10.7		▲ 20.0		▲ 45.2		▲ 15.2		▲ 22.8	
令和6年 1~3月期		▲ 20.7		▲ 20.0		▲ 45.2		▲ 19.3		▲ 26.3	
令和6年 4~6月期		▲ 10.8		▲ 15.0		▲ 36.8		▲ 8.7		▲ 17.8	
令和6年 7~9月期		▲ 17.9		▲ 20.0		▲ 41.4		▲ 10.5		▲ 22.5	
令和6年 10~12月期		▲ 26.7		▲ 10.0		▲ 33.4		▲ 5.2		▲ 18.8	
令和7年 1~3月期		▲ 26.6		▲ 20.0		▲ 38.5		▲ 15.5		▲ 25.2	
令和7年 4~6月期		▲ 23.3		▲ 25.0		▲ 38.4		▲ 13.8		▲ 25.1	

（注1）業況判断DIポイント値は、前年同期と比較して業況が「好転」と答えた企業の割合から「悪化」と答えた企業の割合を引いたもの

（注2）「全体」のポイント値は全業種の単純平均値

2.業種別景気動向

①製造業



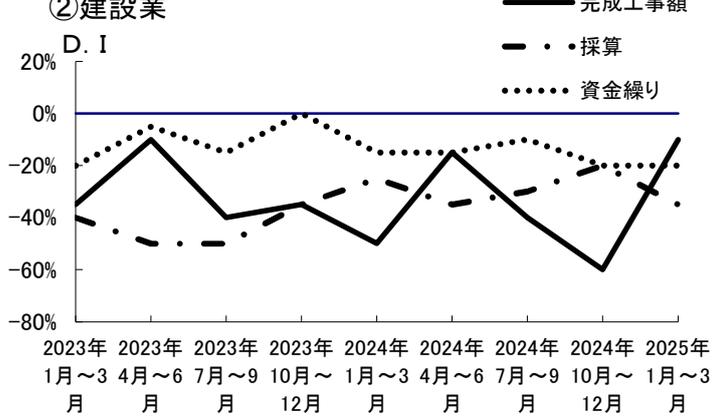
<前期比>

売上額 : 悪化 (▲23.3→▲33.4 ポイント)
採算 : やや悪化 (▲26.7→▲36.7 ポイント)
資金繰り : ほぼ横ばい (▲17.3→▲17.2 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 原材料価格の上昇 (58.6%)
2位 : 生産設備の不足・老朽化 (10.3%)、

②建設業



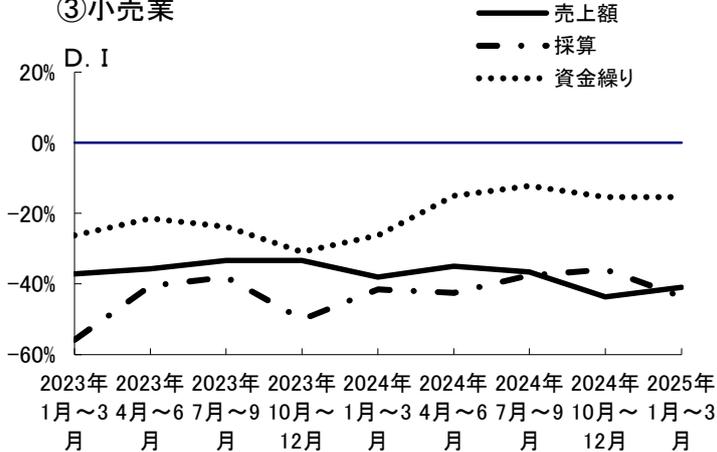
<前期比>

完成工事額 : 大幅好転 (▲60.0→▲10.0 ポイント)
採算 : 悪化 (▲20.0→▲35.0 ポイント)
資金繰り : 横ばい (▲20.0→▲20.0 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 材料価格の上昇 (50.0%)
2位 : 官公需要の停滞 (11.1%)

③小売業



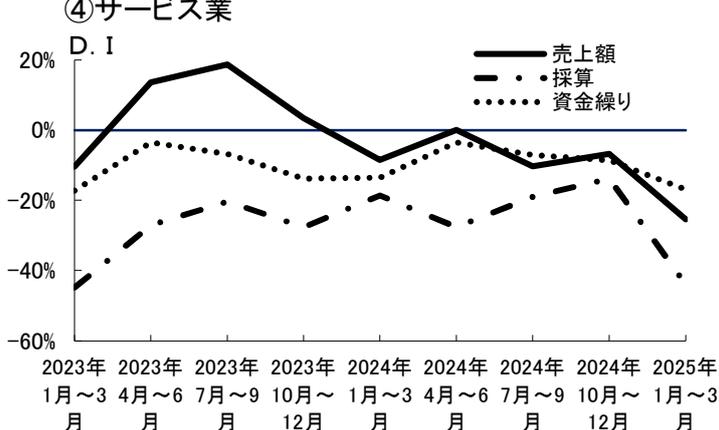
<前期比>

売上額 : やや好転 (▲43.6→▲41.0 ポイント)
採算 : やや悪化 (▲35.9→▲43.6 ポイント)
資金繰り : 横ばい (▲15.4→▲15.4 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 仕入単価の上昇 (35.5%)
2位 : 需要の停滞 (16.1%)

④サービス業



<前期比>

売上額 : 悪化 (▲6.8 → ▲25.4 ポイント)
採算 : 大幅悪化 (▲13.8→▲43.9 ポイント)
資金繰り : やや悪化 (▲8.6→▲16.9 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 材料等仕入単価の上昇 (42.3%)
2位 : 人件費の増加 (9.6%)